



完全予約制です 電話072-990-5820

特定健診も予約制です。受診券・健康保険証・  
介護保険証（65歳以上の方）をご持参下さい。  
大腸がん検診・肝炎検診も行っております。



ホームページ

<http://www.kikuchi-clinic.com/>

携帯版も共通です。  
(softbankはv/をつけて)

メールマガジン（PC版、携帯版）を発行しています。  
登録は、上記ホームページからできます。

## 6/1（火）の午前診は休診させていただきます

個人的な事情で申し訳ありませんが、今後も、このように不規則な休診をさせて頂くことがあります。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。（何かで訴えられていて、裁判所に出頭している、とかではありませんので、ご安心下さい。）

万一、**予約をお取りになった後で、休診が決まった場合には、責任を持ってお知らせして、変更させていただきます。**

休診についての、最新情報は、インターネットのホームページとメールマガジン（いずれも、パソコン用と携帯電話用あり）でご案内していますので、ご確認ください。

ゴールデンウィークなどで、高速道路の渋滞の予測が出ますが、当院でも混雑する日はだいたい予測できます。休み明け（月曜や祝日の翌日）や、連休の谷間（今年なら4月30日、5月1日など）は、予約されていても待ち時間が長くなることが多いです。こういった日に、当日の飛び入りは危険です。定期の薬がなくなるとか、1か月前から風邪といった患者さんは、受診日をよくお考え下さい。

## 詳細な領収書の発行について

4月から、**詳細な診療内容のわかる領収書を無料で発行することが義務化**されました。**発行を希望されない患者さんには発行しなくてもよい**とのことですが、大部分の患者さんには、受け取って頂いております。

インターネットでは、診療報酬情報提供サービス(<http://www.iryohoken.go.jp>)で、全ての項目を閲覧できますが、厚生労働省は「わかりやすい」ということは、考えていないようです。（現場の医療を経験したことのない、キャリア官僚が考えることですから、しれています。）

たとえば、静脈採血料は「B-V」、内視鏡検査は「E-F」、細菌顕微鏡検査は「S-M」、病理組織標本作製は「T-M」などです。一般の方に、このような略語が理解できるはありません。気がつき次第、当院の領収書では、日本語に修正していますが、間に合わない場合があります。このような例に、お気づきになったら、ぜひお教え下さい。

なお、一番多かったご質問は、「いらないと言ったら、支払いが安くなるのか？」ということでした。答はノーです。1点（10円）ですが、「明細書**発行体制**等加算」、つまり発行するかどうかではなく、発行できる体制への評価だからです。

- ・毎月初回の受診時には、必ず「保険証」や「医療証」をご持参下さい。
- ・他院で処方を受けておられる場合は、お薬手帳などをご持参ください。
- ・健診結果などをお持ちになった場合は、診察前に受付へお出してください。

当院では、デビットカード・クレジットカードをご利用頂けます。

## 新しい検査項目について

もうお気づきかと思いますが、血液検査の報告書に新しい項目が増えています。正確に言うと、検査項目が増えているわけではありません。下の表で、実際に測定している検査項目には、「\*」印がついていますが、今回ご紹介するのは、「\*」がついていない項目です。

### 1. LDL/HDL比

検査項目	測定値	単位	基準値
* HDLコレステロール	37	mg/dℓ	40~75
* LDLコレステロール	129	mg/dℓ	70~139
LDL/HDL比	3.5		

ご存じのように、HDLコレステロールとは、動脈硬化を防ぐ「善玉」コレステロールで、LDLコレステロールは動脈硬化を進行させる「悪玉」コレステロールです。

それぞれの数値も大事ですが、LDLをHDLで割った比率（LDL/HDL比）も重要です。新しい考え方なので、明確な正常値というものは、まだありませんが、目安としては、**2以下が正常範囲、3以上は要注意**と考えています。

検査項目	正常値
中性脂肪	150以上
HDLコレステロール	40未満
LDLコレステロール	140以上

### 2. 糸球体濾過（ろか）値推算値（eGFR）

* クレアチニン	0.78	mg/dℓ	0.60~1.15
糸球体濾過値推算値	78	ml/min / 1.73m <sup>2</sup>	

糖尿病の合併症としての、腎機能障害（糖尿病性腎症）が血液透析の原因の約半数を占めています。近年、原因を問わず、腎機能障害が持続する状態を、慢性腎臓病（CKD）と呼び、早期発見・早期治療を行うようになってきています。

通常、腎機能は、クレアチニン値で判断します。

（正常値は、男性1.15以下、女性0.85以下）

正確な評価には、GFR（糸球体濾過値）の測定が必要ですが、24時間の蓄尿が必要など、簡単に検査ができないので、**クレアチニン値・年齢・性別の3つからGFR推算値を算出**して判断することが勧められています。

結果は右表のように、5段階で評価されます。病期3以上は要注意です。一般的に必要なことは、減塩（1日6g未満）、禁煙、肥満があればその是正、適度な運動などです。

また、糖尿病、高血圧症などの基礎疾患の治療もかなり厳しくしなければいけません。

病期	重症度	eGFR値
1	正常	90以上
2	軽度低下	60~89
3	中等度低下	30~59
4	高度低下	15~29
5	腎不全	15未満

## 診察なしでの投薬について

「待てないから、診察を受けずに、処方せんを出してほしい。」と希望される患者さんがおられますが、法的に問題がある上、お待ち頂いている他の患者さんにも申し訳ないと思います。

「やむを得ない事情」の場合、できるだけお応えしたいと思いますが、原則として、7日分を限度とさせていただきます。（1週間ずつ4回処方するより、4週間に一度受診される方が安いです）

なお、ご本人でなくても、ご家族の方が診察室に入って病状を確認でき、指導ができる場合は、この限りではありません。ただし、急性疾患（感冒、インフルエンザ、急性胃腸炎など）の場合は、必ず診察させていただきます。

## 慢性肝炎について

**日本中では、350万人の方が肝炎ウイルスに感染していると言われています。**

慢性肝炎は、数十年かけて、肝硬変になり、肝臓癌（肝細胞癌）を発生する原因となります。したがって、**肝臓癌の早期発見のために大事なことは、肝炎ウイルスの検査を受けること**です。現在、**20～39歳の方は大阪府が、40歳以上の方は市町村が、肝炎ウイルス検診（無料）を実施しており、当院でも受けることができます。**ぜひお受け下さい。（検診は1回のみです）

**ウイルス性肝炎の根本的治療は、抗ウイルス剤による肝炎ウイルスの排除**です。

C型慢性肝炎に対しては、インターフェロン（注射）とリバビリン（内服薬）の併用を行うことが多いです。有効率はウイルスの型と量によりますが、50～80%です。

B型慢性肝炎に対しては、35歳未満の方ではインターフェロン療法、35歳以上の方では、核酸アナログ製剤（内服薬）で治療することが多いです。

2年前から、**肝炎治療特別促進事業**として、自己負担が軽減されていましたが、この4月からさらに自己負担が軽減されました。

大阪府肝炎協力医療機関である、当院へご相談下さい。

区分 (市町村民税額)	自己負担上限月額	
	(旧)	(新)
上位所得世帯 (235,000円以上)	50,000円	20,000円
中間所得世帯 (65,000円以上235,000円未満)	30,000円	10,000円
下位所得世帯 (65,000円未満)	10,000円	10,000円

## 鳥越俊太郎 医療の現場！

(日本医師会提供)

BS朝日（BSデジタル5チャンネル）毎週土曜日 午後6：00～6：30  
(地デジではありません) 再放送：毎週日曜日 午前10：00～10：30

- 5 / 1 小さな命を守れ！ ～小児救急の今～
- 8 肺は元には戻らない？ ～タバコがもたらす病 COPD～
- 15 前立腺肥大症 ～最新レーザー治療の現場～
- 22 パニック障害 ～人知れず悩む病からの脱出～
- 29 ママになりたい！ 流産を繰り返さない

4月から、テキスト（月刊）が発売されています。待合室においておりますので、ご覧ください。

## メルマガ（メールマガジン）のご案内

**この広報誌は、月1回の発行ですが、下記の2種類のメールマガジンを随時発行して、新しい情報をお知らせしています。**いずれも、登録・配信は無料です。

- ・「**きくメール**」（パソコン版）
  - ・「**きくメールミニ**」（携帯電話版）（パソコンへも配信できます）
- 登録は、PCおよび携帯、それぞれのホームページからできます。  
携帯版は、右のQRコードで接続できます。



「**きょうの健康**」 <http://www.nhk.or.jp/kenko/> (テキストが市販されています)

NHK**教育テレビ** (月) ~ (金) 午後8:30~8:45

(再放送) 翌週 **午後0:30~0:45** (変更されました)

「**先どり きょうの健康**」 **総合テレビ** (日) 午前5:15~5:30 (変更されました)

(その週の月~木の4本の放送のうち1本が放送されます。)

日	月	火	水	木	金
4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30
<b>先どり</b>	<b>知って防ごう脳卒中・心不全・不整脈・心房細動</b>			食で健康づくり! おいしく食べよう “減塩”メニュー	<b>Q&amp;A</b>
減塩メニュー	早く気づく ために	薬・安全に 使うために	広がる カテーテル治療		脳卒中 心不全
2	3	4	5	6	7
<b>先どり</b>	<b>骨の生活習慣病 骨粗しょう症</b>			気をつけて! 介護する人の 高血圧	<b>Q&amp;A</b>
骨粗しょう症	原因と検査	危険度と治療法	骨を強くする 生活習慣		骨粗しょう 症
9	10	11	12	13	14
<b>先どり</b>	<b>知って得する“健診”活用法</b>		つらい月経 子宮内膜症	中高年の山歩き 山での事故を 防ぐために	<b>Q&amp;A</b>
中高年の山歩き	一般の健診で わかること	どう受ける? がん 検診・人間ドック			健診
16	17	18	19	20	21
<b>先どり</b>	<b>子どもの行動が気になるとき</b>			腎臓がん 治療最前線	<b>Q&amp;A</b>
子どもの行動	場の雰囲気 つかめない	落ち着きがなく 衝動的	文字の読み書き が苦手		子どもの 行動
23	24	25	26	27	28
<b>先どり</b>	<b>(アンコール放送) 昼間の眠気が知らせる高血圧・心臓病の危険</b>				<b>Q&amp;A</b>
昼間の眠気	睡眠不足と 心臓・血管	血圧が下がり にくいとき	イビキなおして 血圧下げよう	睡眠のための “眠”リズム	昼間の 眠気

**ここが聞きたい! 名医にQ**

NHK教育テレビ 毎週土曜日 午後8:00~**8:54** (変更されました)

(再放送は翌週**金曜日** 午後1:05~1:59) (変更されました)

- 5/1 腎臓病
- 8・15 歯周病と生活習慣病
- 22・29 胃痛・胃もたれ・胃の病気

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9~12	○	○	検査	○	○	○	×
午後5~7	○	○	×	○	○	×	